

(1/7 朝刊)

「第6波に突入」 日医会長

行動制限緩和
見直しを提起
日本医師会の中川俊男会長は6日の記者会見で、新型コロナウイ

ルスの感染者増加を踏まえ、「全国的に『第6波』に入りました」との見解を示しました。ワクチンの接種証明などにより行動制限を緩和する「ワクチン・検査パッケージ」については、「これから感染状況を見て、柔軟に仕組みを見直すべきだと思う」とひ掛けました。

（1/7 朝刊）

提言しました。

中川氏は「（感染拡大の）スピードが極めて速くなっている」と指摘。変異株「オミクロン株」に対応するた

め、自治体に対して「感染者数を常に予想しながら、『まん延防止等重点措置』の申請を準備するなどの構えでいるべきだ」と呼び掛けました。